



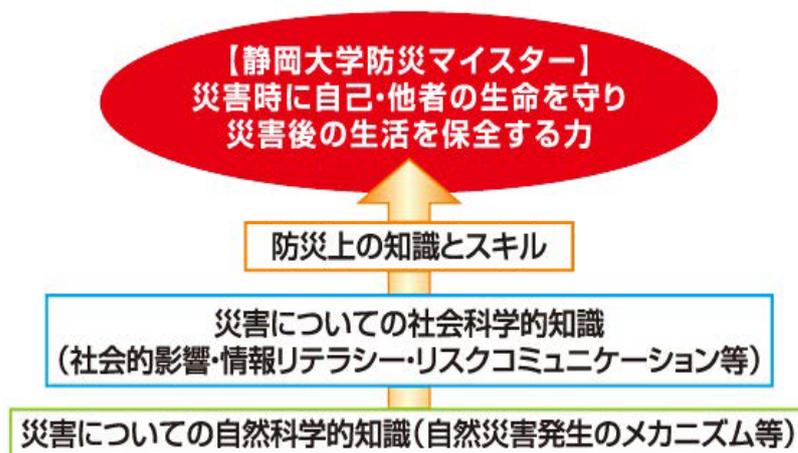
—特別教育プログラム—
静岡大学防災マイスター
【令和 7(2025)年度申請者用ガイダンス資料】



1 概要と目的

静岡大学防災マイスター称号制度は、一定レベルの防災知識を備えた学生を養成して社会に輩出するために平成 23(2011)年度から始まりました。このプログラムでは、静岡県を含む広い地域で危惧される南海トラフ地震をはじめとする自然災害に対する科学的な知識を有し、それに基づいて災害時に自己や他者の生命と災害後の生活を守る上で有用な防災知識・スキルを獲得することを目標としています。

本プログラムは防災総合センターが中心となり、所定の科目を履修し授与を申請した学生に防災マイスターの称号を与えるものであり、静岡・浜松両キャンパスで実施され、令和 6(2024)年度までに 164 名が「静岡大学防災マイスター」の称号を得ています。



2 達成目標

静岡県を含む広い地域で危惧される南海トラフ地震をはじめとする自然災害に対する科学的な知識を有し、それに基づいて災害時に自己や他者の生命と災害後の生活を守る上で有用な防災知識・スキルを獲得すること。

なお、教育学部にあっては、それを学校安全の推進に活用できる能力を獲得することを目標としています。

3 履修資格と履修手続き

特に必要な履修資格はありません。本学学生であれば履修することが可能です。

本プログラムのガイダンスに参加の上、「単位取得計画書」*と「申請者登録用紙」*を作成し、期日までに防災総合センター事務室にメール (meister.office.shiz@shizuoka.ac.jp) で提出して下さい。

* 計画書及び登録用紙は、防災総合センターHP「防災マイスター」のページからダウンロードして下さい。

7 静岡県知事認証「ふじのくに防災マイスター」の称号取得

本プログラムの修了(称号取得)とともに、県の認定講習を受講することにより、静岡県知事認証「ふじのくに防災マイスター」の称号を得ることができます。対象のほぼ全員が称号を得ています。

例年、修了レポートに合格した人を対象として、2月中旬ごろ認定講習が開講されます。認定講習は、静岡県地震防災センター（静岡市葵区）での講義（センター内展示施設の見学を含む）です。（令和6年度は令和7年2月5日の午後に実施）

なお、都合により認定講習を受講できない場合は、次年度の同講習を受講することが可能です。



◀ 静岡県地震防災センター
（静岡市葵区）



認定講習の様子 ▶



8 オープンバッジについて

本学では2023年度から、一般財団法人オープンバッジ・ネットワークが発行するオープンバッジを導入しています。

オープンバッジとは、獲得した知識やスキルを証明する国際技術標準規格のデジタル証明書です。ブロックチェーン技術を取り入れており、偽造や改ざんが困難であることから、信頼性の高い証明書として国内外の大学や企業等で普及が進んでいます。

特別教育プログラムの「防災マイスター」は、オープンバッジの発行対象となっています。



◀ 静岡大学防災マイスター オープンバッジ

バッジの形は、防御を示す盾を表し、背景の色調は静岡大学のスクールカラーです。中央は、噴火の恐れがある富士山を表しています。

9 履修対象科目

本科目一覧は、令和7年度入学生用です。2年生以上の方は、入学年度の「履修科目一覧」を参照してください。◀p6「10 履修上の留意事項」参照▶（転任等で担当教員が変更となる場合があります。）

■静岡キャンパス

（令和7年度入学生用）

対応学部等	科目名	単位	対象年次	担当教員
-------	-----	----	------	------

▼必修科目（4単位）

全学教育科目	大規模自然災害の科学	2	2	北村晃寿
グローバル共創 科学部	安全とリスクの心理学	2	2	村越 真/小杉素子/ 満下健太

対応学部等	科目名	単位	対象年次	担当教員
-------	-----	----	------	------

▼選択必修科目（4単位以上／4単位を超えて履修した場合、超えた単位は選択科目の単位とすることができる）

全学教育科目 (静岡)	地震防災	2	2～3	牛山素行/原田賢治
	地域社会と災害	2	2	牛山素行
	地球科学（原田先生が担当するクラス）	2	2	原田賢治
教育学部	学校におけるリスク管理	2	3	村越 真ほか
グローバル共創 科学部	防災・減災論	2	2	池田恵子/原田賢治
	防災まちづくり	2	3	池田恵子

▼選択科目（4単位以上）

全学教育科目 (静岡)	進化と地球環境	2	2	鈴木雄太郎
	静岡県の防災・減災と原子力	2	3	大矢恭久
	社会資本マネジメント論	2	2	北村晃寿ほか
人文社会科学部	心理学概論	2	1	田辺 肇
	人文地理学	2	2	山本隆太
	地誌学	2	2	山本隆太
教育学部	地誌学概論	2	1	中條暁仁
	地理学研究法	2	3	中條暁仁/佐藤正志
理学部	地球ダイナミクス概論Ⅰ	2	2	川本竜彦/田阪美樹
	地球ダイナミクス概論Ⅱ	2	2	生田領野/石橋秀巳/三井雄太
	生物環境科学概論Ⅰ	2	2	塚越哲/佐藤慎一
	生物環境科学概論Ⅱ	2	2	木村浩之/宗林留美
	堆積学	1	3	北村晃寿
	層序学	2	3	北村晃寿
	放射線計測・管理学概論	2	3～4	大矢恭久
農学部	放射線管理実習	1	2～3	大矢恭久/近田拓未/大吉崇文
	地質学概論（集中講義）	2	2	松澤 真（非常勤講師）
	山地保全学	2	3	今泉文寿/高山翔揮（非常勤）
グローバル共創 科学部	コミュニティ心理学	1	3	江口昌克
	ウェルビーイングの哲学	1	3	堂園俊彦
	総合人間科学概論	2	1	オムニバス
	現代社会の認知科学	2	1	須藤 智/前東晃礼/祝原 豊
	人間の尊厳と人権	2	1	正木祐史/堂園俊彦/板倉美奈子
	基礎地学	2	2	北村晃寿
	生物多様性保全論	2	2	小池 亨/宗林留美
	都市計画論	2	2	石川宏之
	応用倫理学概論	2	2	堂園俊彦
	臨床心理学概論	2	2	江口昌克
	自然災害の現象	2	3	原田賢治
	環境共生社会論	2	3	富田涼都
	森林水文学	2	3	今泉文寿/江草智弘
環境工学	2	3	キム・キョンミン	
(学芸員科目)	博物館情報・メディア論	2	2	江水是仁

対応学部等	科目名	単位	対象年次	担当教員
-------	-----	----	------	------

▼必修科目（4単位）

全学教育科目 (浜松)	災害のリスクマネジメント	2	2	小杉素子ほか
	大規模自然災害の科学	2	2	北村晃寿ほか

▼選択必修科目（4単位以上／4単位を超えて履修した場合、超えた単位は選択科目の単位とすることができる）

全学教育科目 (浜松)	地震防災	2	2	小杉素子ほか
	静岡県の防災・減災と原子力	2	3	大矢恭久ほか
	わが街・浜松の市政	2	2	望月美希ほか
	地域社会連携を考える	2	3	清水一男
工学部	安全工学	2	3～4	武田和宏ほか

▼選択科目（4単位以上）

工学部 (機械工学)	材料力学Ⅰ（必）	2	1	吉田健吾
	確率・統計（必）	2	2	岡本正芳
	流体環境工学（必）	2	3	福田充宏ほか
	経営システム工学（選）	2	4	關根惟敏ほか
工学部 (電気電子)	確率統計<情報エレクトロニクス(必)>	2	2	大内浩司
	データ処理と機械学習<エネルギー・電子制御(選)>	2	2	和田忠浩
	数値シミュレーション<情報エレクトロニクス(必)>	3	3	沖田善光
	経営システム工学（選）	2	4	關根惟敏ほか
	技術者倫理（選）	1	4	松木純也
	センサ工学<情報エレクトロニクス(選)>	2	4	二川雅登
工学部 (電子物質)	電気法規および施設管理 <エネルギー・電子制御(選)>	2	4	石川 明
	環境工学<電子物理デバイス(選)> <材料エネルギー化学(選必)>	2	3	須田聖一
	経営システム工学（選）	2	4	關根惟敏ほか
工学部 (化学バイオ)	数値計算法<電子物理デバイス(選必)>	2	3	伊藤 哲
	経営システム工学（選）	2	4	關根惟敏ほか
	技術者倫理（必）	1	3	馬淵大幾ほか
	移動現象論Ⅰ（必）	2	2	立元雄治
工学部 (数理システム)	環境化学<環境応用化学(必)> <バイオ応用工学(選)>	2	2	岡島いづみほか
	確率統計（選）	2	1	佐藤一憲
	リスク分析（選）	2	3	前田恭伸
	経営システム工学（選）	2	4	關根惟敏ほか
情報学部	技術者倫理（必）	1	3	守田 智
	統計学入門	2	1	西村崇宏
	社会モデル	2	2	高口鉄平
	社会調査論	2	1	藤岡伸明
	コミュニティ・デザイン論	2	2	笹原 恵ほか
	Webデザイン	2	3	杉山岳弘
	都市環境デザイン	2	2	秋元菜摘
情報社会とコミュニティ	2	2	藤岡伸明ほか	

10 履修上の留意事項

- ① 必修科目4単位、選択必修科目4単位以上、選択科目は各学部等で設定されている科目から4単位以上を履修してください。（令和3年度以前の入学生は、必修科目3単位、選択必修科目4単位以上、選択科目は各学部等で設定されている科目から5単位以上を履修）
- ② 選択必修科目で4単位を超えて履修した場合、その超えた単位は選択科目の単位とすることができます。（例：選択必修科目6単位履修の場合は2単位を選択科目の単位とすることができます。）
- ③ 履修対象科目のうち既に履修した単位は、称号認定のための単位として認められます。
- ④ 科目によっては隔年開講のものがあるので、時間割をよく見て履修計画を立ててください。
- ⑤ 履修対象科目の一覧は、令和7年度入学者用です。令和4～6年度の入学者は、入学時に配付された「全学教育科目 履修案内」の特別教育プログラムのページを、それ以前の入学者は、防災総合センターHP/防災マイスターのページで入学年度の「履修科目一覧」を参照願います。
- ⑥ グローバル共創科学部生は、全学共通科目のうち「学際科目」は卒業要件外のため、ご自身で抽選履修登録ができません。防災マイスター取得のために履修したい学際科目がある場合は、抽選履修登録期間中に、教務課教務係（共通教育 A 棟2階）まで申し出てください。（抽選履修登録期間は、同係に確認してください。）／申し出があった方は、教務係が抽選履修登録を代行しますが、抽選の結果、選に漏れる場合もありますので、ご了承ください。

※防災マイスターに関係する学際科目は次のとおり。

必修科目：「大規模自然災害の科学」／選択必修科目「地震防災」「地域社会と災害」

選択科目：「静岡県の防災・減災と原子力」「社会資本マネジメント論」

- ⑦ 修了(称号認定)するためには、対象科目の履修に加え、卒業年次に提示されるテーマに基づく「修了レポート」を作成・提出し、合格する必要があります。（「5 修了(称号認定)までの流れ」参照）

11 よくある質問

Q1：防災マイスターの称号を取ると、どんな役に立ちますか。

A1：称号を得ることによって、特別な待遇を得られる訳ではありませんが、南海トラフ地震が危惧される地域に限らず、災害時のリスクから自ら身を守ることに役立つ学習内容であることは、間違いありません。

Q2：防災マイスターの称号取得者の進路はどのようになっていますか。

A2：取得者164名の進路は、教職49名、公務員36名、民間企業37名、進学34名、その他8名です。

単位取得計画書 提出手続きについて

Q3：年度の途中で取得を希望した場合、どうすればいいでしょうか。

A3：年度途中での受け付けはしていません。次年度の防災マイスター希望者へのガイダンスに出席し、次年度に希望者として手続きをしてください。

Q4：前年度までに「単位取得計画書」を提出しましたが、今年度何か必要な手続きはありますか。

A4：既に計画書を提出した人については、新たに計画書を提出する必要はありません。ただし、連絡先登録用紙の未提出者、連絡先が変わった方は防災総合センターまでご連絡ください。

Q 5 : 履修対象科目一覧に掲載されている科目で、既に取得済の単位はどのように扱われますか。

A 5 : 一覧掲載科目で既習済の単位は、防災マイスター称号認定の対象単位として扱います。計画書には取得した年次を記入してください。

履修対象科目について

Q 6 : 既習の単位の担当教員が一覧の同名の科目の担当教員と違いますが、どのように扱われますか。

A 6 : 認定対象の単位として扱います。

Q 7 : 過去の年度と今年度で履修対象科目が変わっていますがどうすればいいでしょうか。

A 7 : 入学した年度の履修対象科目の一覧に沿って履修してください。

Q 8 : 他学部の科目を取得する場合、特別な手続きは必要ですか。(静岡キャンパス)

A 8 : 他学部の科目を履修するための手続きが必要な場合がありますので、事前に各学部学務係窓口で確認してください。通常、第1回授業後、「他学部授業履修届」に当該授業担当教員から承諾印(サイン)をもらい、所属学部学務係に提出します。他学部授業科目の取得可能単位数に上限がある(各学部で定める)ので、注意してください。

Q 9 : 選択必修科目で抽選に外れたらどうすればいいですか。

A 9 : 学際科目(全学教育科目)については、防災マイスターの希望者が、抽選で優先されることはありません。しかしながら、選択必修科目は全学教育科目の他、一部学部科目もあるので、特に問題はないかとは思いますが、もし、3年後学期の抽選後に選択必修科目が取れていない場合(抽選漏れした場合)は、すみやかに静岡キャンパスは教務課教務係、浜松キャンパスは浜松教務課共通教育係に「防災マイスター」履修科目であることを申し出てください。

Q 10 : 履修計画登録時と違う科目を修了認定に使用しても大丈夫でしょうか。

A 10 : 大丈夫です。但し、単位修得は計画的に行うようにしてください。

Q 11 : 大学院生ですが、今まで全く防災マイスターに関する単位を取っていません。ゼロからでも取得することは可能ですか。

A 11 : 可能です。大学院入学年度の履修対象科目により所要単位(必修科目4、選択必修科目4、選択科目4の計12単位)を取得してください。ただし、学部授業の取得単位数の上限は、16単位のため、他に自分が必要な単位を考えて計画的に履修するようにしてください。

なお、本学学部からの進学生については、学部入学時の履修対象科目も参照し、既修科目がある場合は、「単位取得計画書」の科目名欄に、当該科目名(既修)、学年欄は学部での単位取得年次を記入してください。

Q 12 : 他学部の選択科目を履修できますか。

A 12 : 科目によっては基礎知識を学んでいることを前提に開講しています。希望する担当教員から履修の許可をいただければ可能です。

Q 13：履修対象科目に記載の科目の名称が変更、または閉講になっている場合はどうしますか。

A 13：防災総合センター事務室にご連絡願います（下記問合せ先参照）。センターとして対応策を検討し、回答します。共通的な内容は関係の皆様へメールし、センターHPに掲載します。

Q 14：夜間主コースの学生ですが、履修して称号を取得することはできますか。（静岡キャンパス）

A 14：多くの科目は昼間コースの学生を対象に開講されているため、昼間コースの科目を履修する必要があります。※

昼間コースの科目では、「抽選」により履修学生を決定する科目があります。夜間主コースの学生は「抽選」に参加できませんが、抽選の結果、欠員がある科目については、夜間主コースの学生も抽選後の一般履修登録期間内に登録（先着順）することで履修ができます。

3年後学期の抽選でも欠員がなく、選択必修の単位数を充足できない場合は、一般履修登録期間内に教務課教務係へ「防災マイスター」の要件科目の履修を希望する旨を申し出てください。

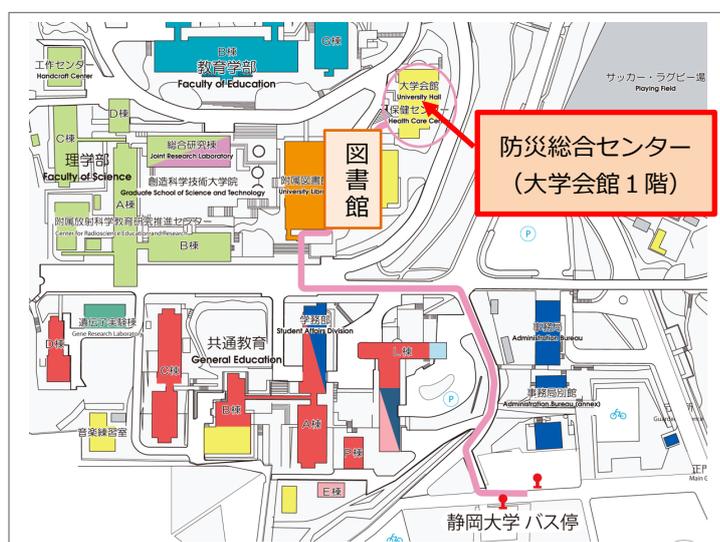
※全学教育科目のうち一部科目については、夜間主コースの学生を対象に開講される場合がありますので、教務課教務係に確認してください。

修了レポートについて

Q 15：修了レポートとして課される課題はどのようなものですか。

A 15：修了レポートは卒業年次に提出していただきます。レポートの課題については、10月上旬に防災総合センターHPに掲載します。内容としては、学んだ知識を職業や地域の生活にどのように生かすかをまとめてもらうものになります。ただし、提出後に審査の上、合格に至らない場合は、再提出を求めることになるので、その点は心得ておいてください。

■ 静岡大学防災総合センター（静岡キャンパス）



- ・ 防災総合センターウェブサイト：
<https://www.cnh.shizuoka.ac.jp>
 - ・ 防災総合センター事務室電話番号：
054-238-4502
 - ・ 防災マイスター専用メールアドレス：
meister.office.shiz@shizuoka.ac.jp
 - ・ 問合せ先：
（静岡 C）防災総合センター事務室/上記
（浜松 C）メールアドレス：
bousai-hama@shizuoka.ac.jp
- ※履修対象科目の個別の内容等についての照会は、各部局教務担当窓口へお願いします。